

# 政策 1 未来の創り手に求められる力の育成

## 施策 1 確かな学力の育成

・自ら課題を見つけ自ら学び、主体的に判断・行動し、よりよく問題解決する力を育成します

成果指標	対象	調査名
全国学力・学習状況調査正答率の対全国比	小6国・算 中3国・数	全国学力・学習状況調査
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていると回答した児童生徒の割合	小6児童 中3生徒 高2生徒	全国学力・学習状況調査 児童生徒質問調査（小中） 教育委員会調査（高）
学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていると回答した児童生徒の割合	小6児童 中3生徒 高2生徒	全国学力・学習状況調査 児童生徒質問調査（小中） 教育委員会調査（高）

取組	概要	対象			
		幼	小	中	高
1 授業改善の推進	自ら学びに向かう姿勢をはぐくむとともに、一人一人に応じた学びの充実を目指し、ICTを有効に活用した授業改善を推進します		○	○	○
2 幼児教育の質の向上※	「幼児期に育てたい力 <sup>5</sup> 」に基づいた、質の高い幼児教育を推進します	○			
3 きめ細かな教科指導体制の構築	教職員の教科の専門性を生かした教科指導や個に応じた支援や指導を充実します		○	○	○
4 学力向上に資するPDCAサイクルの推進	市学力調査等の実施及び結果分析を踏まえ、各校における指導の見直しや、評価につなげるとともに、実態に応じた授業改善を推進します		○	○	

※「施策2 豊かな心の育成」及び「施策3 健やかな心身の育成」については、本市の幼児教育の指針「幼児期に育てたい力」に基づいて総合的に取り組みます

5 就学前のこどもに身に付けさせたい力として、「幼児期に育てたい力」を明記した、本市における幼児教育の指針

## 施策2 豊かな心の育成

- ・ 道徳性や情操を豊かにする心を養います
- ・ 互いの個性や多様性を認め合い、支え合いながら、共によりよく生きようとする態度をはぐくみます

成果指標	対象	調査名
教育活動において、体系的継続的に体験活動を実施し、教育目標を達成していると認識している学校の割合	小学校 中学校	教育委員会調査
人が困っているときは進んで助けていると回答した児童生徒の割合	小6児童 中3生徒 高2生徒	全国学力・学習状況調査 児童生徒質問調査（小中） 教育委員会調査（高）

取組	概要	対象		
		小	中	高
1 人権教育の推進	多様性に対する理解と自分や他の人の人権を尊重する態度をはぐくみます	○	○	○
2 道徳教育の推進	他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養います	○	○	○
3 読書活動の充実	こどもの感性を磨き、創造力を豊かにする読書の習慣を形成します	○	○	○
4 文化芸術教育の充実	文化芸術に触れたり、多様な専門家に接したりすることで、創造性や表現力をはぐくみます。	○	○	○
5 体験活動の充実	豊かな人間性や社会性をはぐくむ体験活動を充実します	○	○	○

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

### 施策3 健やかな心身の育成

- ・望ましい生活習慣を確立するとともに、運動やスポーツに親しむ心情をはぐくむことを通して、心身の健康の増進と体力の向上を目指します
- ・安全な生活を実現するために必要な力を育成し、生涯を通じて自他の安全を守ろうとする態度をはぐくみます

成果指標	対象	調査名
全国体力・運動能力、運動習慣等調査における実技テストの値の対全国比	小5児童 中2生徒	全国体力・運動能力、 運動習慣等調査
中学に進んだら授業以外でも（中学・高校を卒業したら）自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと回答した児童生徒の割合	小5児童 中2生徒 高2生徒	全国体力・運動能力、 運動習慣等調査（小中） 教育委員会調査（高）
学校や学校以外で身の回りに危険なことが起こった時、どのように避難したり、身を守ったりしたらよいか知っている回答した児童生徒の割合	小6児童 中3生徒 高2生徒	教育委員会調査

取組	概要	対象		
		小	中	高
1 学校保健・食育の充実	食をはじめとした自身の健康に対する関心や意識の向上を目指します	○	○	○
2 運動習慣の確立	運動やスポーツを「する、見る、知る」機会を提供し、運動やスポーツに対する関心を高めます	○	○	○
3 生活習慣の確立	「早寝早起き朝ごはん」の継続的な推進などにより、こどもの基本的な生活習慣の確立に取り組みます	○	○	○
4 安全教育の充実	危険を避けて安全に行動でき、他の人や社会の安全のために貢献できる資質・能力を育成します	○	○	○

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

## 施策4 グローカル<sup>6</sup>人材の育成

- ・ 郷土愛に立脚したグローバルな視点や思考をはぐくみます
- ・ 地域の自然や伝統文化、歴史等を尊重し、大切に作る郷土愛をはぐくみます

成果指標	対象	調査名
CEFRのA1レベル <sup>7</sup> 相当以上の生徒の割合	中3生徒	教育委員会調査
言葉や文化が異なる人や大人を含む年齢が異なる人との交流は楽しみであると回答した児童生徒の割合	小6児童 中3生徒 高2生徒	教育委員会調査
今住んでいる地域（市町村）が好きと回答した児童生徒の割合	小6児童 中3生徒 高2生徒	教育委員会調査

取組	概要	対象			
		幼	小	中	高
1 外国語教育の充実	外国の文化に触れたり、外国語でコミュニケーションしたりする機会を保障し、異文化理解とコミュニケーション能力の向上を目指します		○	○	○
2 郷土愛の醸成	「地域の『ひと』・『もの』・『こと』」を対象にした体験や学びの場を設定し、地域に対する理解や愛情の形成に向けた取組を充実します	○	○	○	○

6 グローバル（地球規模）とローカル（地域）を合わせた言葉

7 Common European Framework of Reference for Languages : Learning, teaching, assessment「外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ言語共通参照枠」の略  
A1レベルは、6段階のうち、最も基礎にあたるレベル（英検3級程度）

## 施策5 情報活用能力の育成

・ICT機器の日常的な活用や情報モラル意識の向上を目指します

成果指標	対象	調査名
情報活用能力調査の値	小5児童 中2生徒	教育委員会調査
前学年までに受けた授業で、PCタブレットなどのICT機器の利用が週3回以上と回答した児童生徒の割合	小6児童 中3生徒 高2生徒	全国学力・学習状況調査 児童生徒質問調査（小中） 教育委員会調査（高）

取組	概要	対象		
		小	中	高
1 情報教育の充実	一人一台端末を有効に活用し、情報活用の実践力や情報の科学的理解を深める取組を充実します	○	○	○
2 情報モラル教育の充実	自他の権利保護や情報機器活用に伴うトラブル回避等について、発達段階に応じた情報モラル教育を推進します	○	○	○



タブレット型端末を活用した調べ学習



体育の授業での活用

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

## 施策6 持続可能な社会・地域の形成に参画する態度の育成

- ・ こどもの社会参画意識や多面的・多角的に物事を捉え追究する態度を育成します
- ・ 各教科等で培った力を基盤にして、社会に必要な資質・能力を育成します

成果指標	対象	調査名
地域や社会の出来事や課題について、こどもが探究的に学ぶことができるよう学習計画を立て、成果を認識している学校の割合	小学校 中学校 高等学校	教育委員会調査
地域や社会をより良くするために何かしてみたいと思う児童生徒の割合	小6児童 中3生徒 高2生徒	全国学力・学習状況調査 児童生徒質問調査（小中） 教育委員会調査（高）

政策1

政策2

政策3

政策4

政策5

取組	概要	対象		
		小	中	高
1 特別活動・キャリア教育・主権者教育の充実	特別活動を要としたキャリア教育に関する取組、自治的活動や自発的活動、発達段階に応じた主権者意識の向上に資する取組を充実します	○	○	○
2 持続可能な開発目標(SDGs) <sup>8</sup> やSTEAM <sup>9</sup> 等に関する教育の充実	教科横断的な学習や探究的な学習を充実します	○	○	○

8 2030年までに、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のこと  
17のゴール、169のターゲットで構成

9 Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Art（芸術）、Mathematics（数学）の頭文字をとったもので、各教科での学習を実社会での問題発見・解決にいかしていくための教科横断的な教育のこと

## 施策7 育ちや学びをつなぐ教育の推進

- ・ こどもの発達段階に応じた教育活動への理解を深め、円滑な連携、接続の充実を図ります

成果指標	対象	調査名
幼稚園等と小学校間で互いに連携し、こどもの育ちの円滑な接続を図っていると回答した園・学校の割合	幼稚園 小学校	こども家庭部調査（幼） 教育委員会調査（小）
前年度までに、近隣の中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行っているという回答した学校の割合	小学校 中学校	全国学力・学習状況調査 学校質問調査

取組	概要	対象			
		幼	小	中	高
1 幼保小連携の推進	「幼児期に育てたい力」や「スタートカリキュラム <sup>10</sup> 」について、幼稚園等と小学校が相互に理解を図りながら連携を深め、保育・教育活動に取り組みます	○	○		
2 小中連携の充実	小中の学びや育ちを意識した教育を推進します		○	○	
3 ポートフォリオ <sup>11</sup> の効果的活用	こどもが自分自身の学びや成長を振り返ったり、見通したりしながら主体的に学びに向かう力をはぐくみます		○	○	○

10 小学校へ入学したこどもが幼稚園や保育所などの遊びや生活を通した学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラム

11 自身が作成したレポートや作品などを蓄積していくもの  
学校では「キャリア・パスポート」等により、こども自身の学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、自身の変容や成長を自己評価したものを記録・蓄積し、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなぐものとして活用